

# 生活基盤施設耐震化等事業計画 中間評価

## 生活基盤施設耐震化等事業計画

平成31年3月28日

計画の名称	愛知県水道施設耐震化等事業計画																																
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）			交付対象	愛知県																												
計画の目標	大規模地震災害発生後であっても、県民の生活に必要な機能を維持するとともに、迅速な復旧復興を図る。																																
計画の成果目標（定量的指標）	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">重要給水施設管路耐震適合率の向上</td> <td>(H28年度当初：17.3% → H32年度末：41.4%)</td> </tr> <tr> <td>管路の耐震化率の向上</td> <td>(H28年度当初：17.7% → H32年度末：20.8%)</td> </tr> <tr> <td>管路の耐震適合率の向上</td> <td>(H28年度当初：28.9% → H32年度末：31.4%)</td> </tr> <tr> <td>経年化管路率の抑制</td> <td>(H28年度当初：16.1% → H32年度末：20.4%)</td> </tr> <tr> <td>浄水施設耐震率の向上</td> <td>(H28年度当初：49.1% → H32年度末：69.3%)</td> </tr> <tr> <td>配水池耐震施設率の向上</td> <td>(H28年度当初：67.3% → H32年度末：73.4%)</td> </tr> <tr> <td>ポンプ所耐震施設率の向上</td> <td>(H28年度当初：94.0% → H32年度末：97.2%)</td> </tr> <tr> <td>給水拠点密度の向上</td> <td>(H28年度当初：20.5箇所/100km<sup>2</sup> → H32年度末：22.3箇所/100km<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>浄水場の拡張率の向上</td> <td>(H28年度当初：92.7% → H32年度末：93.3%)</td> </tr> <tr> <td>広域調整池の整備率の向上</td> <td>(H28年度当初：61.5% → H32年度末：80.7%)</td> </tr> <tr> <td>連絡管等の整備率の向上</td> <td>(H28年度当初：63.1% → H32年度末：73.6%)</td> </tr> <tr> <td>水道スマートメーターによる見える化サービス普及戸数の増加</td> <td>(H31年度当初：0戸 → H32年度末：284戸)</td> </tr> </table> <p>※愛知県内の交付対象事業者に限る ※経年化管路率は、簡易水道事業者を除く</p>									重要給水施設管路耐震適合率の向上	(H28年度当初：17.3% → H32年度末：41.4%)	管路の耐震化率の向上	(H28年度当初：17.7% → H32年度末：20.8%)	管路の耐震適合率の向上	(H28年度当初：28.9% → H32年度末：31.4%)	経年化管路率の抑制	(H28年度当初：16.1% → H32年度末：20.4%)	浄水施設耐震率の向上	(H28年度当初：49.1% → H32年度末：69.3%)	配水池耐震施設率の向上	(H28年度当初：67.3% → H32年度末：73.4%)	ポンプ所耐震施設率の向上	(H28年度当初：94.0% → H32年度末：97.2%)	給水拠点密度の向上	(H28年度当初：20.5箇所/100km <sup>2</sup> → H32年度末：22.3箇所/100km <sup>2</sup> )	浄水場の拡張率の向上	(H28年度当初：92.7% → H32年度末：93.3%)	広域調整池の整備率の向上	(H28年度当初：61.5% → H32年度末：80.7%)	連絡管等の整備率の向上	(H28年度当初：63.1% → H32年度末：73.6%)	水道スマートメーターによる見える化サービス普及戸数の増加	(H31年度当初：0戸 → H32年度末：284戸)
重要給水施設管路耐震適合率の向上	(H28年度当初：17.3% → H32年度末：41.4%)																																
管路の耐震化率の向上	(H28年度当初：17.7% → H32年度末：20.8%)																																
管路の耐震適合率の向上	(H28年度当初：28.9% → H32年度末：31.4%)																																
経年化管路率の抑制	(H28年度当初：16.1% → H32年度末：20.4%)																																
浄水施設耐震率の向上	(H28年度当初：49.1% → H32年度末：69.3%)																																
配水池耐震施設率の向上	(H28年度当初：67.3% → H32年度末：73.4%)																																
ポンプ所耐震施設率の向上	(H28年度当初：94.0% → H32年度末：97.2%)																																
給水拠点密度の向上	(H28年度当初：20.5箇所/100km <sup>2</sup> → H32年度末：22.3箇所/100km <sup>2</sup> )																																
浄水場の拡張率の向上	(H28年度当初：92.7% → H32年度末：93.3%)																																
広域調整池の整備率の向上	(H28年度当初：61.5% → H32年度末：80.7%)																																
連絡管等の整備率の向上	(H28年度当初：63.1% → H32年度末：73.6%)																																
水道スマートメーターによる見える化サービス普及戸数の増加	(H31年度当初：0戸 → H32年度末：284戸)																																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考																										
				当初現況値	中間目標値	最終目標値																											
重要給水施設管路耐震適合率(%)：管路の耐震適合性を有する重要給水施設箇所数/総重要給水施設数				17.3	30.6	41.4																											
管路の耐震化率(%)：耐震管路総延長(km)/管路総延長(km)				17.7	19.4	20.8																											
管路の耐震適合率(%)：耐震適合性のある管路(km)/管路総延長(km)				28.9	30.0	31.4																											
経年化管路率(%)：法定耐用年数を越えた管路総延長(km)/管路総延長(km)				16.1	18.5	20.4																											
浄水施設耐震率(%)：耐震対策の施されている浄水施設能力(m <sup>3</sup> /日)/全浄水施設能力(m <sup>3</sup> /日)				49.1	69.3	69.3																											
配水池耐震施設率(%)：耐震対策の施されている配水池容量(m <sup>3</sup> )/配水池総容量(m <sup>3</sup> )				67.3	70.8	73.4																											
ポンプ所耐震施設率(%)：耐震化対策の施されているポンプ所能力(m <sup>3</sup> /日)/全ポンプ所能力(m <sup>3</sup> /日)				94.0	97.2	97.2																											
給水拠点密度(箇所/100km <sup>2</sup> )：配水池・緊急貯水槽数/給水区域面積(km <sup>2</sup> )				20.5	21.7	22.3																											
浄水場の拡張率(%)：浄水場施設能力(m <sup>3</sup> /日)/計画施設能力(m <sup>3</sup> /日)				92.7	93.3	93.3																											
広域調整池の整備率(%)：整備済みの広域調整池(箇所)/全体整備計画(箇所)				61.5	73.0	80.7																											
連絡管等の整備率(%)：整備済みの連絡管等(路線)/全体整備計画(路線)				63.1	68.4	73.6																											
水道スマートメーターによる見える化サービス普及戸数(戸)：スマートメーター設置稼働戸数(戸)				0.0	※	-	284	※当初現況値は平成31年度当初値を示す。																									
全体事業費(A+B+C+D)	78,938,559 千円	A	57,486,222 千円	B	21,442,624 千円	C	0 千円	D	9,713 千円																								
全体交付額(A+B+C+D)	12,508,962 千円	A	8,878,437 千円	B	3,628,120 千円	C	0 千円	D	2,405 千円																								

### 生活基盤施設耐震化等事業計画に係る中間評価

1 交付対象事業の進捗状況												
A 水道施設等耐震化事業												
番号	事業種別	地域種別	事業主体	市町村名	事業名	事業内容 (上段：実績、下段：計画)	事業実施期間（年度）					進捗状況
							H28	H29	H30	H31	H32	
1	簡水	一般	設楽町	設楽町	基幹改良	更新管路延長 8.4km 更新管路延長 12.5km						継続
2	簡水	一般	東栄町	東栄町	基幹改良	自家発電施設更新等 自家発電施設更新等						完了
3	簡水	一般	豊根村	豊根村	基幹改良	更新管路延長 3.1km 更新管路延長 8.0km						継続
4	上水	一般	半田市	半田市	緊急遮断弁	砂谷配水池 緊急遮断弁設置 砂谷配水池 緊急遮断弁設置						完了
5	上水	一般	豊川市	豊川市	緊急遮断弁	中山配水池 緊急遮断弁設置 中山配水池外 緊急遮断弁設置						継続
6	上水	一般	岡崎市	岡崎市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 1.85km 重要給水施設配水管 2.5km						継続
7	上水	一般	豊川市	豊川市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 1.3km 重要給水施設配水管 1.6km						継続
8	上水	一般	津島市	津島市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 2.7km 重要給水施設配水管 3.0km						継続
9	上水	一般	豊田市	豊田市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 3.4km 重要給水施設配水管 4.7km						継続
10	上水	一般	常滑市	常滑市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 2.49km 重要給水施設配水管 5.73km						継続
11	上水	一般	新城市	新城市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 2.7km 重要給水施設配水管 4.9km						継続
12	上水	一般	東海市	東海市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 1.3km 重要給水施設配水管 1.7km						継続
13	上水	一般	東海市	東海市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 0.7km 重要給水施設配水管 1.3km						継続
14	上水	一般	東海市	東海市	重要給水施設配水管	— 重要給水施設配水管 0.3km						継続
15	上水	一般	高浜市	高浜市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 2.2km 重要給水施設配水管 2.6km						継続
16	上水	一般	武豊町	武豊町	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 1.8km 重要給水施設配水管 2.5km						継続
17	上水	一般	武豊町	武豊町	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 0.3km 重要給水施設配水管 1.7km						継続
18	上水	一般	美浜町	美浜町	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 0.6km 重要給水施設配水管 1.5km						継続
19	上水	一般	大府市	大府市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 0.5km 重要給水施設配水管 2.1km						継続
20	上水	一般	知立市	知立市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 1.8km 重要給水施設配水管 2.3km						完了
21	上水	一般	知立市	知立市	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 0.5km 重要給水施設配水管 1.6km						継続
22	上水	一般	南知多町	南知多町	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 2.6km 重要給水施設配水管 3.2km						継続
23	上水	一般	幸田町	幸田町	重要給水施設配水管	重要給水施設配水管 2.3km 重要給水施設配水管 2.4km						完了
24	上水	一般	幸田町	幸田町	重要給水施設配水管	— 重要給水施設配水管 0.7km						継続

